学校番号	３０１７

令和２年度　芸術〔音楽〕

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高校生の音楽１　（教育芸術社）３０９						
副教材等	なし						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・主に、歌唱（合唱を含む）・器楽（リコーダー、ギター、和楽器等の）演奏実技・音楽理論・鑑賞を柱に学習する。
・音楽Ⅰ、音楽Ⅱは連続履修を原則とするが、進路等の理由で選択変更もあり得る。音楽系の進路を考えている生徒は早めに担当者に相談に来ること。
・選択者へアンケートを実施し、生徒の状況及び実技レベル等により、適切に教材を選択する。

２ 学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a：音楽への関心・意欲・態度	b：音楽表現の創意工夫	c：音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	観察 演奏の聴取	観察 演奏の聴取	観察 演奏の聴取 確認筆記テスト	観察 提出物

上に示す観点に基づいて、a：10%、 b・c・d：90%の割合で評価し、５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	主な評価の観点				題材の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	歌唱(斉唱・二重唱)	【歌唱】 発声法 校歌 世界各国の歌	○	○	○		a:歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、その雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 演奏の聴取
	リコーダー演奏・(独奏・合奏)	【器楽】 各種リコーダーの奏法・特徴を理解して演奏する。	○	○	○		a:アンサンブルに関心をもち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音色やリズムを知覚し、特質や雰囲気を感受し、どのように演奏するか表現意図をもっている。 c:表現したいことを伝えるための器楽演奏の技能を身に付けている。	観察 演奏の聴取
	和楽器	【和楽器】 箏曲を中心に演奏と鑑賞	○	○	○	○	A 和楽器の音色や奏法の特徴に関心をもち、主体的に取り組んでいる。 b:音色やリズムなどの要素を知覚し、特質や雰囲気を感受し、表現に工夫の意図をもっている。 c:音色や奏法の特徴を生かした技能を身に付け、創造的に演奏している。 d:音楽を形づくっている要素を知覚し、特質や雰囲気を感受しながら、音楽に対する理解を深め、美しさを感受している。	観察 演奏の聴取
	合唱	【混声三部合唱以上】 発声・パート練習	○	○	○		a:歌詞が表す情景や心情、楽曲の背景との関わりに関心をもち主体的に取り組もうとしている。 b:リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:音楽表現するために必要な発声、日本語の発音、呼吸法、読譜などの技能を身に付けている。	観察 演奏の聴取

	音楽理論	【楽典】 音符･標記法 音程 音階	○		○		a:リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、主体的に取り組もうとしている。 c： イメージに沿った旋律やリズムの組み合わせ方、記譜の仕方など必要な創作技能を身に付けている。	観察 確認テスト
後期	器楽	【器楽演奏】 ギター演奏の基本技術 ギター合奏 器楽小合奏	○	○	○		a:アンサンブルに関心をもち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音色やリズムを知覚し、特質や雰囲気を感受し、どのように演奏するか表現意図をもっている。 c:表現したいことを伝えるための器楽演奏の技能を身に付けている。	観察 演奏の聴取
	合唱	【混声四部合唱】 発声･パート練習	○	○	○		a:歌詞が表す情景や心情、楽曲の背景との関わりに関心をもち主体的に取り組もうとしている。 b:リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:音楽表現するために必要な発声、日本語の発音、呼吸法、読譜などの技能を身に付けている。	観察 演奏の聴取
	グループ発表(創作を含む)	【自由発表】	○	○	○		a:イメージをもって音楽をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。 b 雰囲気を感受しながら、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。 c:表現したいことを伝えるための器楽演奏の技能を身に付けている。	観察 演奏の聴取

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　　b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　原則として、「歌唱」「器楽」「創作」の分野は a, b, c の３観点で、「鑑賞」の分野は a, d の２観点で評価をする。

※　年間を通して全ての観点について評価することとなるが、学習内容（題材）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。